



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7895 URL <https://www.chuo-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 康正  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 部長代行 (氏名) 三膳 一志 TEL 048-542-2511  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,853	△3.6	1,158	90.6	1,105	257.3	964	299.5
2020年3月期第2四半期	24,743	△6.6	607	275.1	309	—	241	△73.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,066百万円 (890.1%) 2020年3月期第2四半期 107百万円 (△89.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	47.87	37.87
2020年3月期第2四半期	11.98	9.48

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	36,182	7,732	21.4
2020年3月期	34,608	6,665	19.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,732百万円 2020年3月期 6,665百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,600	△0.9	1,800	62.5	1,700	126.3	1,400	192.2	69.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	21,040,000株	2020年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	891,140株	2020年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	20,148,860株	2020年3月期2Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言、県外移動自粛の解除等を経て持ち直しが期待されましたが、再び新型コロナウイルス新規感染者が全国的に急増し、回復のスピードは緩やかな水準にとどまりました。GoToキャンペーンもあって人の移動が活発になり、自動車をはじめ一部産業では生産水準が上がってきており、経済活動は正常化に向かいつつあるものの、欧米での感染拡大が深刻になる等、いまだ収束の目途はまったくたっていません。

当食品包装容器業界におきましては、新型コロナ禍でのライフスタイルの変化により、イベント、外食、旅行、インバウンド等向け需要は落ち込んだままである一方、テレワークの普及、学校教育のオンライン化等により巣籠り生活が広まり、中食・内食向け需要が急増しました。特にテイクアウト、フードデリバリーが新しい生活様式に一気に浸透しました。

こうした中、「食」に関わる事業会社である当社は、事業戦略である「汎用容器事業の基盤強化」、「成長市場へのアプローチ」を推進すると共に、衛生・安全管理を徹底し、万全の感染防止策を前提に製品の安定供給に最善を尽くしてまいりました。

日本に先立って新型コロナウイルス感染拡大が深刻になった中国においても、感染防止策を徹底し、日本同様変化するライフスタイルに対応して製品安定供給を果たしてまいりました。

こうした活動の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が23,853百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益1,158百万円(前年同期比90.6%増)、経常利益1,105百万円(前年同期比257.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は964百万円(前年同期比299.5%増)となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

営業面では、「成長市場へのアプローチ」との戦略に基づき、環境配慮型素材・製品の拡充に注力すると共に、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたライフスタイルの変化に対応し、中食・内食向け、特にテイクアウト、フードデリバリー向け出荷が増大しました。

事業環境の変化が急な中、弁当容器、PSPトレイ、納豆容器、タレビン等、長年ご愛顧頂いてきた製品の需要が高まる一方、海洋プラスチックごみ、CO2排出等による地球温暖化、食品ロス等環境問題に向き合い、リサイクルPET素材「C-APG」、プラスチック使用量を50%未満とする環境配慮型素材「TALFA(タルファー)」、バイオ成分を含む「バイオCT」、「バイオCF」をベースとする製品の拡販、上市に注力しました。

生産面では、工場での感染防止策を徹底し、安定生産体制を堅持しました。「汎用容器事業の基盤強化」との戦略に基づき、安全、品質、技術、原価における競争力強化を目指して、現場改善活動を推進、強化しております。競争力の根源は、生産、販売、物流各機能の強化並びに3機能の連携にあり、経営会議等でのPDCAを通じて漏れのないオペレーション構築を目指しております。

研究開発面では、今年度上市した環境配慮型素材「TALFA(タルファー)」の量産、新商品開発を図ると共に、環境対応との市場ニーズに即し、新素材・新製品の開発に取り組んでおります。

巣籠り生活の広がりに伴いテイクアウト、フードデリバリー等向け出荷が増える一方で、コンビニエンスストア向けは減少し、また、イベント、外食、旅行、インバウンド等関連は引き続き低水準に推移し、売上高全体では前年同期比減少となりました。油価下落に伴う原材料価格の低減、コスト削減等により、利益率は前年比で改善してきております。

この結果、当該セグメントの売上高は20,671百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は1,038百万円(前年同期比52.9%増)となりました。

## (アジア)

中国では、3工場間最適生産体制、日本との協業の強化を進め、競争力強化、生産性向上を進める一方、新型コロナウイルス感染拡大時にも、感染防止策を徹底し安定生産を堅持してまいりました。いまだ新規感染拡大が止まらない他国に比し、中国では経済活動が正常化に向かいつつある中、全拠点において感染防止策を徹底し、安定操業を継続してまいります。日本に比し環境問題に起因する事業環境の変化が急であり、環境配慮型素材・製品の開発を進めております。

この結果、当該セグメントの売上高は3,537百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は369百万円(前年同期比113.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、リース資産の減少258百万円等があった一方、現金及び預金の増加2,108百万円等により、前連結会計年度末と比べ1,574百万円増加し36,182百万円となりました。

## (負債)

負債は、リース債務の減少304百万円等があった一方、1年内返済予定の長期借入金の増加517百万円や長期借入金の増加345百万円等により、前連結会計年度末に比べ507百万円増加し28,450百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益964百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,066百万円増加し7,732百万円となり、自己資本比率は21.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,948百万円となり前連結会計年度末に比べ2,108百万円の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,105百万円や減価償却費993百万円等があり、2,089百万円(前年同期比1,343百万円の増)の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出402百万円等があり、361百万円(前年同期比302百万円の減)の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出2,417百万円やリース債務の返済による支出496百万円があった一方、長期借入金の借入収入3,280百万円があり、365百万円(前年同期比1,321百万円の増)の収入となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年8月12日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年11月10日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想修正のお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,845	4,954
受取手形及び売掛金	7,360	7,411
商品及び製品	4,897	4,934
仕掛品	713	601
原材料及び貯蔵品	1,168	1,129
その他	1,498	1,415
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	18,468	20,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,011	4,899
機械装置及び運搬具(純額)	2,713	2,663
土地	4,290	4,225
リース資産(純額)	2,508	2,261
建設仮勘定	142	224
その他(純額)	461	426
有形固定資産合計	15,127	14,700
無形固定資産		
リース資産	51	41
その他	334	322
無形固定資産合計	385	363
投資その他の資産		
投資有価証券	268	312
長期貸付金	150	146
破産更生債権等	11	14
繰延税金資産	80	83
その他	288	301
貸倒引当金	△172	△171
投資その他の資産合計	626	686
固定資産合計	16,140	15,750
資産合計	34,608	36,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,962	6,112
電子記録債務	1,862	1,866
短期借入金	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	3,995	4,512
リース債務	1,006	797
未払金	1,971	1,918
未払法人税等	163	140
未払消費税等	277	247
賞与引当金	271	269
資産除去債務	11	11
その他	602	611
流動負債合計	21,126	21,486
固定負債		
長期借入金	3,350	3,695
リース債務	2,000	1,905
役員退職慰労引当金	38	42
退職給付に係る負債	886	817
債務保証損失引当金	9	9
資産除去債務	8	8
その他	524	485
固定負債合計	6,817	6,963
負債合計	27,943	28,450
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,212	7,212
資本剰余金	6,787	6,787
利益剰余金	△6,402	△5,438
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	6,427	7,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	61
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	519	555
退職給付に係る調整累計額	△318	△276
その他の包括利益累計額合計	237	340
純資産合計	6,665	7,732
負債純資産合計	34,608	36,182

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,743	23,853
売上原価	18,616	17,343
売上総利益	6,126	6,510
販売費及び一般管理費	5,518	5,351
営業利益	607	1,158
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	5	6
受取賃貸料	19	18
為替差益	—	9
持分法による投資利益	27	27
その他	66	47
営業外収益合計	127	118
営業外費用		
支払利息	85	78
手形売却損	19	18
売上割引	20	20
為替差損	219	—
その他	81	54
営業外費用合計	426	171
経常利益	309	1,105
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産除売却損	9	4
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益	301	1,105
法人税、住民税及び事業税	61	144
法人税等調整額	△1	△3
法人税等合計	60	141
四半期純利益	241	964
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	964

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	241	964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	26
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	△168	36
退職給付に係る調整額	43	42
その他の包括利益	△133	102
四半期包括利益	107	1,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107	1,066

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	301	1,105
減価償却費	1,145	993
持分法による投資損益(△は益)	△27	△27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31	△26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	4
受取利息及び受取配当金	△14	△15
支払利息	85	78
為替差損益(△は益)	76	△20
有形固定資産除却損	7	4
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△4
売上債権の増減額(△は増加)	237	△7
たな卸資産の増減額(△は増加)	394	135
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,303	96
未払消費税等の増減額(△は減少)	△89	△30
その他	80	18
小計	867	2,303
利息及び配当金の受取額	14	15
利息の支払額	△88	△77
法人税等の支払額	△47	△151
営業活動によるキャッシュ・フロー	746	2,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△369	△402
定期預金の預入による支出	△12	△12
定期預金の払戻による収入	12	12
有価証券の取得による支出	△662	—
有価証券の売却による収入	433	—
固定資産の売却による収入	0	69
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
その他	△60	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663	△361
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,000	—
長期借入れによる収入	4,000	3,280
長期借入金の返済による支出	△1,321	△2,417
リース債務の返済による支出	△633	△496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△955	365
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△996	2,108
現金及び現金同等物の期首残高	3,661	2,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,665	4,948

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、前連結会計年度から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,804	2,939	24,743	—	24,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	270	331	△331	—
計	21,865	3,209	25,075	△331	24,743
セグメント利益	679	172	852	△244	607

(注) 1. セグメント利益の調整額△244百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,639	3,213	23,853	—	23,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	324	356	△356	—
計	20,671	3,537	24,209	△356	23,853
セグメント利益	1,038	369	1,408	△249	1,158

(注) 1. セグメント利益の調整額△249百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。